

学び始めたくなる「きっかけ」を考えるワークショップ

令和7年1月29日、『学び始めたくなる「きっかけ」を考えるワークショップ』が生涯学習センターにて開催されました。

本ワークショップは、府中市生涯学習大学の設立に向けた取り組みの一環として実施され、公民館長をはじめ、市民24名が参加しました。



ワークショップの前には、専門家による講義が行われ、生涯学習の重要性について理解を深める機会が提供されました。

まず、広島県立大学の馬本勉副学長が「生涯学習の広がりを目指した市民ニーズの把握について」と題し、府中市民の生涯学習に関するアンケートの中間報告や新しい生涯学習のあり方について講演されました。続いて新居浜生涯学習センターの関福生所長が「学びの愉しみがまちを育てる」というテーマで、大学などと連携した講座や市民主体の講座を開いている新居浜市の生涯学習大学について紹介していただきました。

ワークショップの実施

講義を受けた後、参加者は6つのグループに分かれ、それぞれが生涯学習大学で開講する講座の内容を考えるワークショップを行い、各グループは地域の課題やニーズを踏まえながら、創意工夫を凝らした講座の企画に取り組みしました。

私が所属したグループでは「子育て」をテーマに取り上げ、親子で楽しめる学びの場の提供や、地域の子育て経験を共有する講座について議論し、実践的で役立つ講座のアイデアが生まれました。

今回のワークショップを通じて、生涯学習大学の設立に向けた具体的なアイデアが生まれるとともに市民が主体となって学びの場を作り出す意欲が高まりました。

